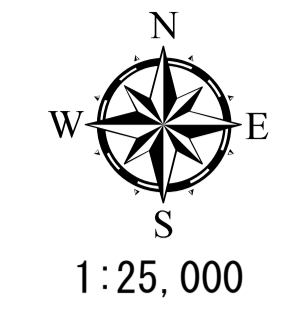
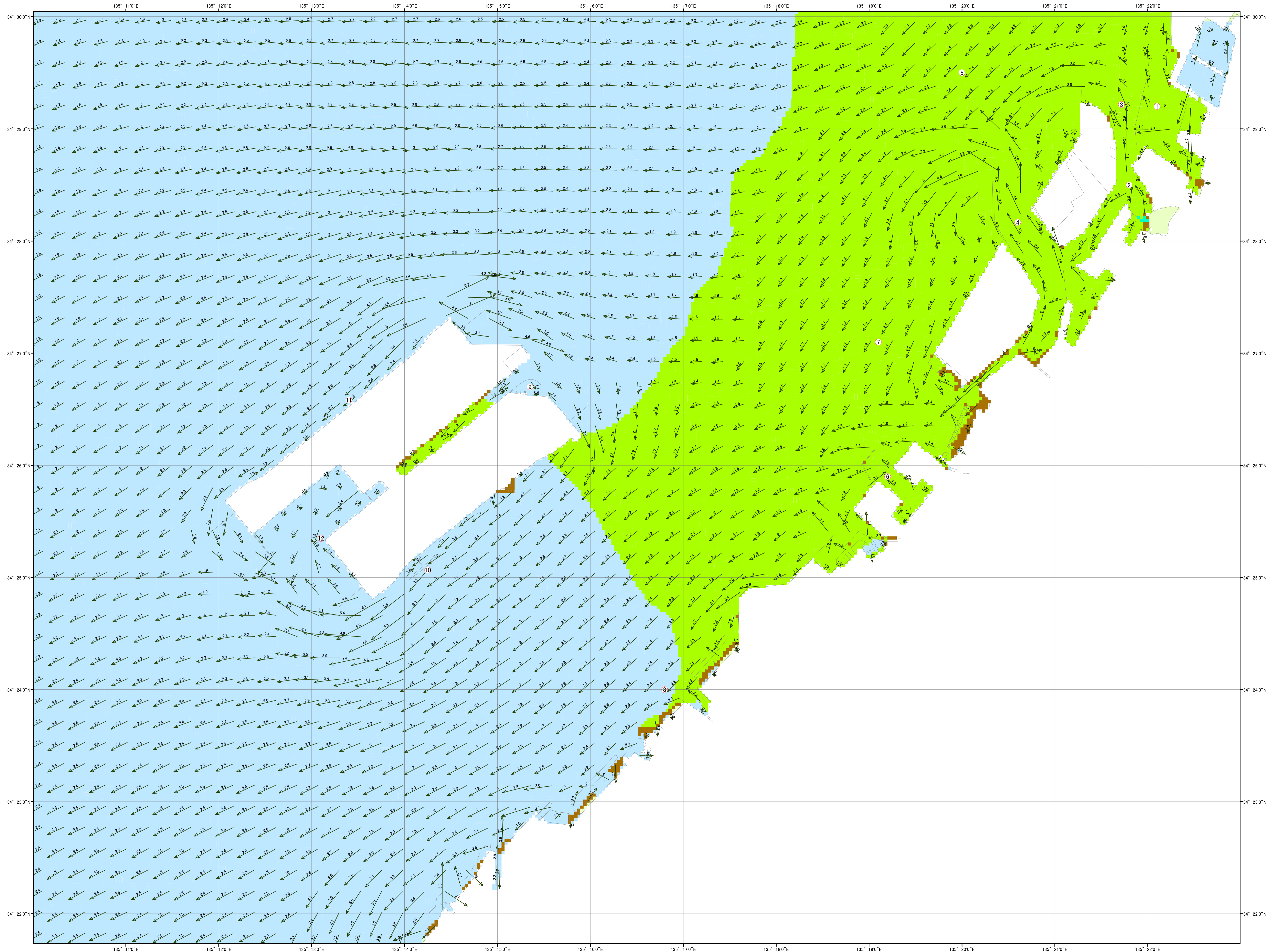


阪南・泉州港 津波防災情報図（引潮図）

計算条件：最低水面（零位）
 隆起量：平均 -0.30m(-0.40m ~ -0.25m)
 Zo：0.95m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



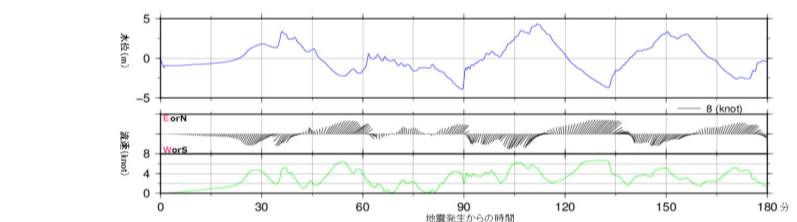
凡例

最大水位低下

- 3~最大3.1m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 露出域

(No) 経時変化出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別の経時変化図で表示。)

(No) 水位・流向・流速経時変化図

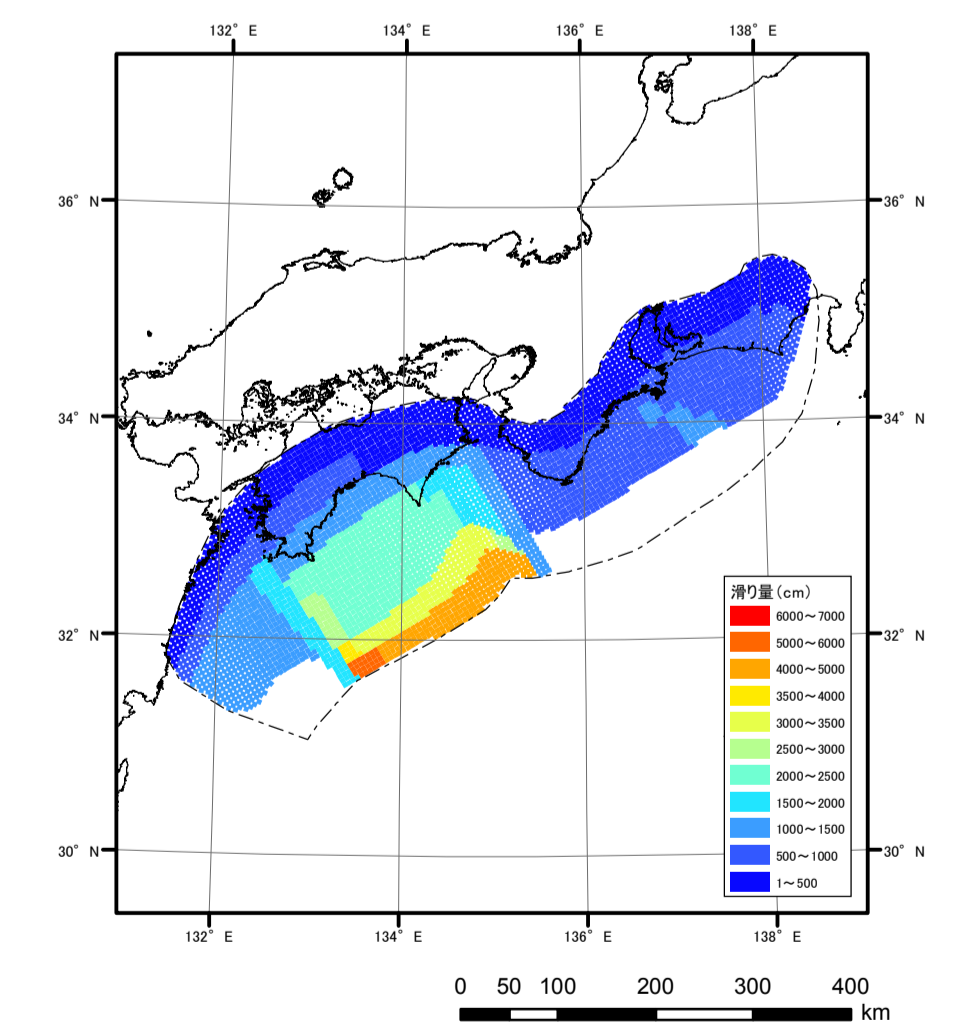


引潮時最大流【knot】

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



ケース④「四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」	
断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 × 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ（標高）及び10mメッシュ（標高）（国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日）

